

ディベート大会 2024 結果報告

同志社大学経済学部・経済学会主催

今年は例年を大幅に上回る、過去最多の 36 チームのエントリーがありました！

毎年 3 年生チームが多い中、今年は 2 年生の参加が 19 チームあり、内 2 チームが決勝に進出しました。

特に大きなトラブルもなく、盛況のうちに無事に終えることができたのは、選手や学生スタッフの皆様の協力のおかげです。本当にありがとうございました。

◆大会概要

日程：12 月 8 日（日） 大会（全チームによるリーグ戦）

12 月 14 日（土） 決勝（上位 8 チームによるトーナメント戦）

論題：「日本は、自動車の電動化目標をすべて 撤回すべきである。是か非か。」

<付帯文>

1. ここでいう自動車の電動化目標とは「2050 年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に掲げるものを指す。
2. 自動車の電動化目標の達成に必要な他の目標・政策も含めて撤回し、新たな電動化目標は設定しないものとする。

◆結果

優 勝：まっするめもり（小林ゼミ）

準優勝：かばーず（小林ゼミ）

3 位：アクセルドライブ（竹廣ゼミ）・脇田と愉快的仲間たち（竹廣ゼミ）

入 賞：おこぼれ（小林ゼミ）・チームパン（四谷ゼミ）・もみゼミ D 班（茂見ゼミ）・C 班（茂見ゼミ）



◆ベストディベーター賞

立論の部：岡 優成

質問の部：麻生 将司

応答の部：三崎 彩奈

反駁の部：赤坂 七海

総括の部：下田 龍寛

◆敢闘賞

まめしば（小林ゼミ）

明日から本気出す（竹廣ゼミ）

やろうども（原田ゼミ）



◆選手の声

- ・自分の才能に驚かされた。
- ・達成感とすごく楽しかった♡♡
- ・ディベートをする上で多くのことを調べなければならなかったので多角的に物事を見る能力が身につくようになった
- ・常にディベートを行うテーマは日常に転がっており、電気自動車についてだけでなくもっと幅広い知識を今後蓄えていきたいと思う。
- ・最初はあまり参加したいと思っていませんでしたが、参加してみると周りの方が議題に対してどのように考えているか、自分の考えをどのように伝えているかなどが大会を通して学ぶことができ、非常に有意義な経験になったと感じています。審査員の方の好評もとても貴重でした。素晴らしい大会だと思いますので今後も継続していただきたいです。

